

新規事業採択時評価結果（平成17年度新規事業化箇所）

担当課：道路河川課

担当課長名：田中 秀紀

| | | | | | | |
|----------------|--|---|-------|---|------|--------------|
| 事業名 | おだにあながせん 町道小谷穴釜線 道路改良事業 | | 事業区分 | 1級町道 | 事業主体 | 熊取町 |
| 起終点 | 自：大阪府泉南郡熊取町小谷南 至：大阪府泉南郡熊取町小谷南 | | | | 延長 | 0.36km |
| 事業概要 | <p>本路線は町内唯一の広域避難地である町民グラウンドと広域緊急輸送路である一般国道170号（大阪外環状線）を連絡する幹線道路であり、原子力災害発生時等の非常時における防災機能上の重要な路線となっており、原子力発電施設等立地地域振興計画に位置付けられている路線である。</p> | | | | | |
| 事業の目的、必要性 | <p>本事業区間は幅員が約5mと狭小であることから、地域住民の迅速かつ円滑な避難路としての重要な役割を果たすため、早急に整備する必要がある。</p> | | | | | |
| 全体事業費 | 4.8 億円 | | 計画交通量 | 3,940台/日 | | |
| 費用対効果 分析結果 | B / C 2.5 | 総費用 9.02億円 （事業費：8.95億円 維持管理費：0.07億円） | 総便益 | 22.72億円 （走行時間短縮便益：20.04億円 走行費用減少便益：1.98億円 交通事故減少便益：0.07億円） | | 基準年 平成16年 |
| 事業の効果等 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 国土地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・ 個性ある地域の形成（特別立法に基づく事業である） ・ 災害への備え（地域防災緊急事業五ヵ年計画に位置付け） ・ 安全な生活環境の確保（通学路であり学童・園児が40人/日以上） ・ 他のプロジェクトとの関係（道路整備プログラムに位置付け） | | | | | |
| 関係する地方公共団体等の意見 | <p>町道小谷穴釜線は、地域緊急交通路として町内唯一の広域避難地と広域緊急交通路（大阪外環状線）を連絡する幹線道路であり、原子力災害発生時の救助・救急、医療、消火並びに緊急物資の供給を迅速かつ的確に実施するために重要な役割を担っており、原子力防災上の観点から、そのネットワークの速やかな形成が必要である。</p> <p>また、熊取町において、町内6地区の自治会及び各PTAより早期整備の要望を受け付けている。</p> | | | | | |
| 事業概要図 | | | | | | |

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。